

第 14 回日本医療薬学会年会

“薬剤師がつくる薬物治療”－薬・薬・学の連携－

開催概要

日 時：平成 16 年 10 月 16 日（土）・17 日（日）

会 場：幕張メッセ（日本コンベンションセンター）

千葉県千葉市美浜区中瀬 2-1

テ ー マ：“薬剤師がつくる薬物治療”－薬・薬・学の連携－

内 容：理事会，評議委員会，総会，会長講演，特別講演，教育講演，シンポジウム，
一般講演（ポスター），ミキサー，イブニングセミナー，ランチョンセミナー，
ワークショップ，機器・医薬品・書籍展示

関連行事：市民公開講座，公開シンポジウム

Web アドレス：<http://www.congre.co.jp/iryo14/>

参加申込

医療薬学 vol.30, No5, 2004 綴じ込みの「専用払込取扱票」に必要事項ご記入の上，年会事前参加費・ミキサー事前参加費をお振込みください。また非会員の方・別途専用払込取扱票が必要な方はメールにて（アドレス：iroy14@congre.co.jp），専用払込取扱票をご請求ください。

事前登録の締切り日：平成 16 年 9 月 10 日（金）

この機会に是非，日本医療薬学会学会員の登録をお願い致します。

参加費：	会 員	8,000 円	（事前登録）	10,000 円	（当日受付）
	非会員	12,000 円	（事前登録）	14,000 円	（当日受付）
	学 生	3,000 円	（事前登録）	3,500 円	（当日受付）
ミキサー：	一 般	5,000 円	（事前登録）	6,000 円	（当日受付）
	学 生	3,000 円	（事前登録）	3,500 円	（当日受付）

ワークショップ（事前登録のみ，予約制）：5,000 円（会員） 7,000 円（非会員）

ワークショップ申込み

開催が決定いたしました。現在受付中です。

申し込み用紙は，http://www.congre.co.jp/iryo14/images/work_order.pdfにあります。

プログラム

第 1 会場（コンベンションホール）

➤ 年会長講演 平成 16 年 10 月 16 日（土）8:45－9:20

薬剤師がつくる薬物治療，医療のための薬学教育

－歴史的ターニングポイントを迎えて－

緒方 宏泰（明治薬科大学薬剤学教授）

- 教育講演 1 平成 16 年 10 月 16 日(土) 9:30-10:30
医療機関から発信する日本の医療制度改革
高瀬 浩造(東京医科歯科大学大学院医療政策学教授)
- 教育講演 2 平成 16 年 10 月 16 日(土) 10:30-11:30
薬剤師のための EBM 入門
山崎 力
(東京大学大学院医学系研究科臨床バイオインフォマティクス研究ユニット教授)
- 特別講演 1 平成 16 年 10 月 16 日(土) 13:50-14:50
オーダーメイド薬物治療の戦略
鎌谷 直之(東京女子医科大学附属膠原病リウマチ痛風センター所長・教授)
- 特別講演 2 平成 16 年 10 月 16 日(土) 15:00-16:00
薬剤師が力を発揮できる医療制度とは
田辺 功(朝日新聞編集委員)
- 招待講演 平成 16 年 10 月 17 日(日) 13:50-14:50
塩酸ドネペジルの研究開発戦略 ―その光と影―
杉本 八郎(京都大学大学院薬学研究科客員教授)

シンポジウム 基本 5 テーマに基づいた合計 17 のシンポジウム

●疾病治療への薬剤師のかかわり

高血圧、糖尿病及び骨粗鬆症、感染予防、ターミナルケアなど、病院、開局における薬剤師の治療への関わりを検討します。

- | |
|--|
| ①薬物治療 1：高血圧症，②薬物治療 2：糖尿病，③薬物治療 3：骨粗鬆症，
④薬物治療 4：感染対策・予防，⑤薬物治療 5：悪性腫瘍，⑥薬物治療 6：免疫抑制剤 |
|--|

●最新研究情報の現状と限界

PK/PD、代謝（CYP）など薬物動態の最新研究とその臨床への活かし方を検討します。また、治験への薬剤師のかかわり方について検討します。

- | |
|--|
| ⑦薬物動態情報の活用 1：PK/PD，⑧臨床試験への薬剤師の関わり，
⑨薬物動態情報の活用 2：薬物代謝， |
|--|

●情報を集め、評価し、活かしていく

IT 化の流れ、標準治療のガイドラインの作成、e-添付文書の利用など、情報の収集、共有も様変わりし、薬-薬連携、共有の条件も一部でつくられつつあります。治療に利用していくための課題を検討します。

- | |
|---|
| ⑩医薬品情報 1：薬-薬連携で医薬品情報を考える，⑪医薬品情報 2：医薬品情報を見る
⑫医薬品情報 3：情報がどのように活かされているか |
|---|

●学生の研修教育, 薬剤師のレベル向上のための教育

臨床現場での学生教育の内容や方法, 教育者の育成, 薬剤師の教育など教育問題の具体的な課題を, 薬剤師, 大学教員, 学生が共同で考える場にします。大学院医療薬学学生企画のセッションも考えています。

⑬教育1: 学生の立場から, ⑭教育2: 実務実習モデル・コアカリキュラムの具体化に向けて,
⑮教育3: 卒後教育のあり方

●医療体制のなかでの薬剤師の役割

ジェネリック時代の薬剤師の役割及び病院・薬局マネジメントをテーマに, 大きな視点から薬剤師の貢献を考えます。

⑯ジェネリック時代の薬剤師の役割, ⑰病院・薬局マネジメント

① 薬物治療1: 高血圧症

平成16年10月16日(土) 9:30-11:30 第2会場

テーマ: EBMに基づく高血圧の薬物治療における薬剤師の役割

オーガナイザー 増原 慶壮 (聖マリアンナ医科大学病院薬剤部)

座 長 増原 慶壮 (聖マリアンナ医科大学病院薬剤部)

島 元 (神奈川県薬剤師会)

基調講演 高血圧治療の最近の考え方

木村健二郎 (聖マリアンナ医科大学腎臓・高血圧内科)

指定講演 嶋村 弘史 (昭和大学病院薬剤部)

指定講演 大沢 友二 (たたらりハビリテーション病院薬局)

指定講演 野中 明人 (株式会社大和調剤センター)

② 薬物治療2: 糖尿病

平成16年10月16日(土) 15:00-17:30 第2会場

テーマ: 糖尿病治療の実践—よりよい糖尿病管理を目指した取組み—

オーガナイザー 伊東 明彦 (社会保険蒲田総合病院薬剤部)

笠原 督 (衛生文化協会城西病院)

座 長 厚田幸一郎 (北里研究所病院薬剤部)

佐竹 正子 (恵比寿ファーマシー)

基調講演 臨床薬剤師をめざす西東京地域での試みと実践

伊藤 真一 (伊藤クリニック)

指定講演 薬剤師と糖尿病患者の接点～self-care と safety management 向上のために～

朝倉 俊成 (太田西ノ内病院薬剤部)

指定講演 地域薬局における糖尿病患者との関わり

笠原 徳子 (よつ葉薬局)

一般講演 広島県東部地区におけるタクシー運転手の糖尿病アンケート調査

堀川 俊二 (JA 尾道総合病院薬剤部)

一般講演 インスリン注射のポイント指導

富岡 節子（中野総合病院薬剤科）

③ 薬物治療3：骨粗鬆症

平成16年10月17日（日） 9:30-11:30 第2会場

テーマ：未定

オーガナイザー 幸田 幸直（筑波大学附属病院薬剤部）

座 長 幸田 幸直（筑波大学附属病院薬剤部）

加藤 昇一（加藤回陽堂薬局）

基調講演 石井 朝夫（筑波大学臨床医学系整形外科）

指定講演 包括化診療を視野に入れた骨粗鬆症の新しい薬剤選択

末松 義規（聖マリアンナ医科大学病院薬剤部）

指定講演 森 昌平（かみや調剤薬局）

④ 薬物治療4：感染対策・予防

平成16年10月16日（土） 9:30-11:30 第3会場

テーマ：病院感染と薬剤師

オーガナイザー 仲川 義人（山形大学医学部附属病院薬剤部）

座 長 仲川 義人（山形大学医学部附属病院薬剤部）

曾根 清和（大学前薬局）

基調講演 病院感染対策とチーム医療-薬剤師への提言-

賀来 満夫（東北大学大学院病態制御学講座）

指定講演 感染管理とクリニカルパス

飛野 幸子（済生会熊本病院薬剤部）

指定講演 感染対策における開局薬剤師

岩月 進（㈲ファーマケア）

指定講演 薬剤師が感染管理専任を実践して

新井 裕子（伊勢崎市民病院医療局感染管理室）

指定講演 在宅医療・在宅介護と感染対策

七海 陽子（薬局セブンファーマシー）

⑤ 薬物治療5：悪性腫瘍

平成16年10月16日（土） 15:00-17:30 第3会場

テーマ：未定

オーガナイザー 加賀谷 肇（済生会横浜市南部病院薬剤部）

中西 弘和（京都桂病院薬剤科）

座 長 関塚 雅之（群馬大学医学部附属病院薬剤部）

高橋 洋一（日の出薬局）

- 基調講演 がんチーム医療を実践する薬剤師への期待
 向井 博文（国立がんセンター東病院化学療法科）
- 指定講演 がんチーム医療を薬剤師が実践するには
 後藤 伸之（福井大学医学部附属病院薬剤部）
- 指定講演 がんチーム医療を調剤薬局が実践するには
 長谷川 寛（株式会社千葉薬品）
- 指定講演 谷村 学（山田赤十字病院薬剤部）
- 指定講演 後藤美紀子（仙台社会保険病院薬剤科）
- 一般講演 チーム医療の中で(No. 10) ー緩和医療で薬剤師が活動するにはー
 中川 左理（京都桂病院薬剤科）
- 一般講演 がん化学療法ワークシートを用いた薬剤業務の展開
 池末 裕明（九州大学病院薬剤部）

⑥ 薬物治療 6：免疫抑制剤

平成 16 年 10 月 17 日（日） 9:30－11:30 第 3 会場

テーマ：未定

- オーガナイザー 乾 賢一（京都大学医学部附属病院薬剤部）
 岡 希太郎（東京薬科大学薬学部臨床薬理学）
- 座 長 齋藤 秀之（熊本大学医学部附属病院薬剤部）
 平野 俊彦（東京薬科大学薬学部臨床薬理学）
- 基調講演 臓器移植における免疫抑制療法の考え方と最近の話題
 上本 伸二（三重大学医学部外科学第一講座）
- 指定講演 免疫抑制剤療法における薬剤師の役割：移植から社会復帰まで
 橋田 亨（京都大学医学部附属病院薬剤部）
- 指定講演 保険調剤における免疫抑制剤の適正使用と服薬指導
 下平 秀夫（八王子薬剤センター薬局）
- 一般講演 シクロスポリンとタクロリムスの PK/PD 解析から推測されるカルシニューリン阻害剤の
 至適体内動態
 竹内 裕紀（東京医科大学八王子医療センター薬剤部）
- 一般講演 免疫抑制剤の有害作用回避へ向けた薬学部からの情報発信
 山内 淳史（福岡大学薬学部薬学疾患管理学教室）

⑦ 薬物動態情報の活用 1：PK/PD

平成 16 年 10 月 16 日（土） 9:30－11:30 第 4 会場

テーマ：薬物治療に薬物動態情報を活かすには

- オーガナイザー 松本 宜明（昭和薬科大学薬物動態学研究室）
- 座 長 小口 敏夫（山梨大学医学部附属病院薬剤部）
 松本 宜明（昭和薬科大学薬物動態学研究室）

- 基調講演 臨床からみた薬物動態情報の限界と期待 ―アミオダロンを中心に―
笠貫 宏 (東京女子医科大学循環器内科)
- 指定講演 病態と薬物治療効果との関係―薬物動態情報の活用法について―
栄田 敏之 (神戸大学医学部附属病院薬剤部)
- 指定講演 薬剤師に役立つ臨床薬物動態試験成績のとらえ方
中出 進 (小野薬品工業株式会社薬物動態研究所)
- 一般講演 生体腎移植患者におけるカルシニューリン阻害剤の体内動態と薬効の解析
福土 将秀 (京都大学医学部附属病院薬剤部)
- 一般講演 既治療再発肺癌患者における塩酸アムルピシンの体内動態と抗腫瘍効果・副作用との関連性
松永 雄亮 (熊本大学医学部附属病院薬剤部)
- 一般講演 病態変動にともなう薬物動態変化予測を目的とした簡易ソフトの開発
杉林 堅次 (城西大学薬学部)

⑧ 臨床試験への薬剤師の関わり

平成 16 年 10 月 16 日 (土) 15:00-17:30 第 4 会場

テーマ：薬剤師ができる被験者対応：臨床試験の発展をめざして

オーガナイザー 伊藤 澄信

(順天堂大学医学部臨床薬理学・順天堂医院薬剤部・GCP センター)

座 長 関口 久紀 (日本病院薬剤師会)

伊藤 澄信

(順天堂大学医学部臨床薬理学・順天堂医院薬剤部・GCP センター)

基調講演 治験における薬剤師の役割

古川 裕之 (金沢大学医学部附属病院臨床試験管理センター)

指定講演 精神・神経領域における治験：薬剤師 CRC の活動

山岸美奈子 (国立精神・神経センター武蔵病院治験管理室)

指定講演 大学病院における治験：看護職 CRC と違いはあるのか

宮本由紀子 (順天堂大学医学部附属順天堂医院 GCP センター)

一般講演 薬剤師治験コーディネーターが行う被験者ケア

岡沢香津子 (長野県厚生農業協同組合連合会北信総合病院 薬剤科)

一般講演 薬剤師ができる被験者対応

寺田 浩美 (医療法人鉄蕉会亀田総合病院治験管理センター)

一般講演 小児薬物療法におけるデータネットワークのモデル研究

山口 正和 (国立がんセンター東病院薬剤部)

⑨ 薬物動態情報の活用 2：薬物代謝

平成 16 年 10 月 17 日 (日) 9:30-11:30 第 4 会場

テーマ：薬物応答性の個人差と薬物代謝酵素

オーガナイザー 越前 宏俊 (明治薬科大学薬物治療学教室)

座 長 大森 栄 (信州大学医学部附属病院薬剤部)
 澤田 康文 (九州大学大学院薬学研究科臨床薬学講座)
 基調講演 家入 一郎 (鳥取大学医学部附属病院薬剤部)
 指定講演 有吉 範高 (千葉大学医学部附属病院薬剤部)
 指定講演 大久保 正 (弘前大学医学部附属病院治験管理センター)
 一般講演 高脂血症治療薬セリバスタチンとゲムフィブロジルの相互作用機序の解析
 設楽 悦久 (昭和大学薬学部臨床分子薬品学教室)

⑩ 医薬品情報1：薬・薬連携での医薬品情報を考える

平成16年10月16日(土) 9:30-11:30 第5会場

テーマ：医薬品の情報連携を考えるー大学・地域薬局・病院等ー

オーガナイザー 谷川原祐介 (慶応義塾大学病院薬剤部)

折井 孝男 (NTT 東日本関東病院薬剤部)

座 長 折井 孝男 (NTT 東日本関東病院薬剤部)

竹内 尚子 (かもめ薬局北里健康館)

基調講演 医薬品の情報連携を考えるー大学・地域薬局・病院等ー

折井 孝男 (NTT 東日本関東病院薬剤部)

指定講演 根岸 悦子 (千葉大学大学院薬学研究院高齢者薬剤学研究室)

指定講演 竹内 尚子 (かもめ薬局北里健康館)

一般講演 疑義照会の窓口と薬薬合同勉強会の実施からみた薬薬連携における医薬品情報の有用性の検討

宇野 勝次 (水原郷病院薬剤科)

一般講演 プレアボイド共同報告を通じた薬薬連携

～保険薬局におけるプレアボイド報告制度確立の現状と今後の課題・第4報～

櫻井 孝 (長野赤十字病院薬剤部)

⑪ 医薬品情報2：医薬品情報を見る e-添付文書の活用

平成16年10月16日(土) 15:00-17:30 第5会場

テーマ：階層化添付文書情報の活用

オーガナイザー 谷川原祐介 (慶応義塾大学病院薬剤部)

折井 孝男 (NTT 東日本関東病院薬剤部)

座 長 谷川原祐介 (慶應義塾大学病院薬剤部)

未定

基調講演 医薬品情報の階層化とe添付文書情報

谷川原祐介 (慶應義塾大学病院薬剤部)

指定講演 医療従事者が活用する医薬品情報媒体

望月 真弓 (北里大学薬学部臨床薬学研究センター)

指定講演 開局薬剤師からみたe添付文書情報の利点

山本 信夫 (日本薬剤師会)

指定講演 医薬品適正使用に資する情報発信と情報伝達ツール

服部 洋子（三共株式会社安全性情報部）

指定講演 これからの医薬品情報提供の在り方

渡邊 伸一（厚生労働省医薬食品局安全対策課）

⑫ 医薬品情報 3：情報がどのように活かされているか

テーマ：医薬品情報のさらなる活用を考える ー方法論から実践までー

平成 16 年 10 月 17 日（日） 9:30－11:30 第 5 会場

オーガナイザー 谷川原祐介（慶応義塾大学病院薬剤部）

折井 孝男（NTT 東日本関東病院薬剤部）

座 長 山口 路子（社団法人札幌薬剤師会）

下堂 蘭権洋（鹿児島大学医学部・歯学部附属病院薬剤部）

基調講演 医薬品の情報をどう活用するか

山本美智子（国立医薬品食品研究所安全情報部）

指定講演 医薬品情報データベースの多次元的利用（方法論）

鎌田志乃ぶ（NTT 東日本関東病院薬剤部）

指定講演 保険薬局における医薬品情報の活用

堀口 雅巳（株式会社望星薬局）

指定講演 医薬品情報の新たな活用を考える

田中 照夫（高知県・高知市病院組合）

一般講演 渥美病院における定期的に検査を要する薬剤の臨床検査実施状況について（第2報）

大須賀俊裕（愛知県厚生農業協同組合連合会渥美病院薬剤科）

一般講演 薬剤師の視点による診療ガイドラインの評価・活用

ーAGREE instrument とその限界ー

村山 隆之（さの薬局長伏）

⑬ 教育 1：学生の立場から

平成 16 年 10 月 16 日（土） 9:30－11:30 第 6 会場

テーマ：あなたの意見が薬学教育を変えます！！

ー学生とともに実務実習の今後を考えるー

オーガナイザー

河本 将史，福岡 悦子 （昭和大学大学院薬学研究科医療薬学専攻）

富澤 淳，奥平 朋子 （北里大学大学院薬学研究科臨床薬学履修コース専攻）

杉浦 信寛，鈴木 真也，北村 敏彦（城西大学大学院薬学研究科医療薬学専攻）

南雲 康行，宮川 和也 （星薬科大学大学院薬学研究科医薬品毒性学専攻）

有田 仁紀，宮本 香織，中野 暖子（共立薬科大学大学院薬学研究科医療薬学専攻）

緒形 一宏，柴田 佳子 （昭和薬科大学大学院薬学研究科医療薬学専攻）

大野 大祐，田邊 真 （帝京大学大学院薬学研究科臨床薬学コース専攻）

井出 和男，香川 茂紀 （日本大学大学院薬学研究科医療薬学コース専攻）

富沢 崇志, 森山 知美	(東邦大学大学院薬学研究科臨床薬学専攻)
真田 泰明, 鈴木 貴之	(東京理科大学大学院薬学研究科薬学専攻)
古屋 陽子	(東京薬科大学大学院薬学研究科薬学専攻)
熊田美由紀	(東京薬科大学大学院薬学研究科医療薬学専攻)
田中 美鈴, 小倉 佳奈	(千葉大学大学院医学薬学府医療薬学専攻)
池見 泰明, 小田 泰弘	(明治薬科大学大学院薬学研究科臨床薬学専攻)

コメンテーター

行政:	北山 浩士	(文部科学省高等教育局)
	田中 克平	(厚生労働省医薬食品局)
病院:	佐々木忠徳	(亀田総合病院薬剤管理部)
薬局:	鈴木 忍	(社団法人東京都薬剤師会)
大学:	木津 純子	(共立薬科大学実務薬学講座)

医療系大学院学生を中心とする学生が主に学部学生を対象に病院実習・薬局実習に関するアンケートを実施することを計画中です。それらの結果などをもとに大学院学生、コメンテーター及びフロアーの三者による討論を進める予定です。主な討論内容は、6年制に向けて、実務実習を中心とした教育をどのように進めていくかという点になる予定です。

⑭ 教育2：実務実習モデル・コアカリキュラムの具体化に向けて

平成16年10月16日(土) 13:20-17:30 第6会場

テーマ：実務実習モデル・コアカリキュラムの具体化に向けて

オーガナイザー 日本医療薬学会薬学教育委員会
木内 祐二(昭和大学薬学部病態生理学)
菅家 甫子(共立薬科大学臨床薬学)
緒方 宏泰(明治薬科大学薬剤学)

共催： 薬学教育協議会, 日本薬学会

13:20	はじめに 緒方宏泰(明治薬科大学薬剤学)
13:25	実務実習モデル・コアカリキュラムの全体像 市川 厚(武庫川女子大学薬学部)
13:45	モデル・コアカリキュラムの実務実習事前学習について 入江 徹美(熊本大学薬学部)
14:10	モデル・コアカリキュラムの薬局実習について 児玉 孝(日本薬剤師会)
14:35	モデル・コアカリキュラムの病院実習について 矢後 和夫(日本病院薬剤師会)
15:15	小グループ討議「疑問点、不明な点の抽出」
16:30	全体討議「各グループからの質疑応答」

6年制における長期実務実習の標準カリキュラムとなる実務実習コア・カリキュラムの内容、特にその実習方法についての理解を深めるために、コア・カリキュラム作成に関わった4名のシンポジストが分野別（全体像、事前学習、病院実習、薬局実習）にそれぞれ25分程度の説明をいたします。さらに参加者の理解を深めるため、大学薬学部教員、薬局薬剤師、病院薬剤師が合同で10余の小グループに分かれて討議を行い、疑問点・不明な点を抽出し、各グループの代表が演者に対し質疑をします。

参加予定大学： 北海道大学薬学部、千葉大学薬学部、金沢大学薬学部、京都大学薬学部、
大阪大学薬学部、広島大学薬学部、岡山大学薬学部、長崎大学薬学部、
熊本大学薬学部、岐阜薬科大学、北海道薬科大学、東北薬科大学、
城西大学薬学部、北里大学薬学部、共立薬科大学、昭和大学薬学部、
昭和薬科大学、帝京大学薬学部、東京理科大学薬学部、東邦大学薬学部、
日本大学薬学部、明治薬科大学、新潟薬科大学、北陸大学薬学部、
名城大学薬学部、京都薬科大学、大阪薬科大学、摂南大学薬学部、
神戸学院大学薬学部、神戸薬科大学、武庫川女子大学薬学部、
福山大学薬学部、徳島文理大学薬学部、第一薬科大学
(34大学：7月10日現在)

⑮ 教育3:卒後教育のあり方

平成16年10月17日（日） 9:30-11:30 第6会場

テーマ：卒後研修の必要性とあり方 ―医療の高度化・多様化に 대응するために―

オーガナイザー 北田 光一（千葉大学医学部附属病院薬剤部）

座 長 山田 安彦（東京薬科大学薬学部臨床薬効解析学）

中澤 一純（千葉大学医学部附属病院薬剤部）

基調講演 認定薬剤師、専門薬剤師の必要性と育成

奥村 勝彦（神戸大学医学部附属病院薬剤部）

指定講演 専門薬剤師育成のための取り組み

平野 公晟（日本医科大学附属病院薬剤部）

指定講演 田中 玲子（株式会社望星薬局情報教育センター）

指定講演 感染症管理薬剤師の教育と実践

白石 正（山形大学医学部附属病院薬剤部）

指定講演 輸液・栄養領域専門薬剤師の養成を目指して

伊東 明彦（社会保険蒲田総合病院薬剤部）

⑯ ジェネリック時代の薬剤師の役割

平成16年10月16日（土） 15:00-17:30 第7会場

テーマ：ジェネリック品の社会的意義と導入の考え方

オーガナイザー 黒川 實（東邦大学医学部附属大森病院薬剤部）

- 座 長 西谷 篤彦
(順天堂大学医学部附属順天堂東京江東高齢者医療センター地域連携室)
盛田 捷幸 (蒲田薬剤師会)
- 基調講演 ジェネリック医薬品使用に向けた医療機関の考えとその対応
楠本 正明 (国家公務員共済組合連合会舞鶴共済病院薬剤部)
- 指定講演 特定機能病院の導入における諸問題 薬剤部の立場から
増原 慶壮 (聖マリアンナ医科大学病院薬剤部)
- 指定講演 特定機能病院の導入における諸問題 病院運営の立場から
小山 信彌 (東邦大学医学部附属大森病院)
- 指定講演 保険薬局におけるジェネリック製品の現状と課題
寺師三千彦 (社団法人神奈川県薬剤師会医療保険委員会)
- 指定講演 薬学教育におけるジェネリック医薬品の扱い
早瀬 幸俊 (北海道薬科大学社会薬学分野)
- 指定講演 ジェネリック薬品導入をどのように考えるか メディアの立場から
出河 雅彦 (朝日新聞編集委員)

⑰ 病院・薬局マネジメント

平成 16 年 10 月 17 日 (日) 9:30-11:30 第 7 会場

テーマ: 医療 (病院) 経営からみた薬局の問題点とは

オーガナイザー 佐藤 博 (新潟大学医歯学総合病院薬剤部)

座 長 井上 忠夫 (聖路加国際病院薬剤部)
山本 信夫 (日本薬剤師会)

基調講演 病院経営における薬剤師のあり方とその将来性
堀内 龍也 (群馬大学医学部附属病院薬剤部)

指定講演 病院機能評価で求められる薬剤部門の機能
依田 啓司 (社会福祉法人親善福祉協会国際親善総合病院薬剤部)

指定講演 地域社会をマネージする薬剤師の資質とは?
武政 文彦 (東和薬局)

指定講演 薬局版バランススコアカードを用いた薬局のマネジメント改革
前田 正輝 (望星薬局)

一般講演 全部門参加型クリニカル・パスの実施に向けた薬剤科の取り組み
ーオーダーリングシステム未導入施設での実施ー
上田 善美 (独立行政法人国立病院機構舞鶴医療センター 薬剤科)

特別展示

「実務実習の事前学習をどのように実施しているか」

ー薬学部・薬科大学のカリキュラム紹介ー

日 時: 平成 16 年 10 月 16 日 (土), 17 日 (日) 9:00-17:00

会 場: 幕張メッセ (展示ホール)

参加予定大学： 千葉大学薬学部，金沢大学薬学部，長崎大学薬学部，北海道薬科大学，東北薬科大学，城西大学薬学部，北里大学薬学部，共立薬科大学，昭和大学薬学部，昭和薬科大学，帝京大学薬学部，東京理科大学薬学部，東邦大学薬学部，日本大学薬学部，明治薬科大学，新潟薬科大学，北陸大学薬学部，名城大学薬学部，京都薬科大学，大阪薬科大学，摂南大学薬学部，神戸学院大学薬学部，神戸薬科大学，武庫川女子大学薬学部，福山大学薬学部，徳島文理大学薬学部，第一薬科大学

ミキサー

企業展示会場に隣接した会場で開催致します。病院薬剤師，開局薬剤師，大学教員及び大学生の交流の場にしたいと考えます。大学管弦楽部の演奏などアトラクションを企画しています。

日 時： 平成 16 年 10 月 16 日（土） 17:30-19:30

会 場： 幕張メッセ（展示ホール）

演目（予定）： プリムベールアンサンブル（フルート四重奏）

ヴィヴァルディ：「四季」より 他

演奏者：秋元ゆり江、澁木 瑞恵、鈴木 友紀、安井 直子

大学管弦楽部による演奏

チアガールによるチアリーディング

市民公開講座

「あなたの，いつもの頭痛を考える」

日 時： 平成 16 年 10 月 15 日（金） 13:00-16:00

会 場： 文京シビックホール

後 援： 東京都，東京都薬剤師会，日本薬剤師会，東京都病院薬剤師会，
日本病院薬剤師会，千葉県病院薬剤師会，千葉県薬剤師会

協 賛： エーザイ（株）

参加費： 無料

プログラム

- | | |
|-------------|---|
| 13:00～13:05 | 開会挨拶
乾 賢一（日本医療薬学会会頭，京都大学医学部附属病院薬剤部薬剤部長） |
| 13:05～14:05 | 特別講演 1 頭痛，その見分け方，付き合い方
座長：増原 慶壮（聖マリアンナ医科大学病院薬剤部長）
講師：清水 敏彦（東京女子医科大学脳神経センター頭痛外来講師） |
| 14:10～14:40 | 特別講演 2 頭痛の相談，かかりつけ薬局のすすめ
座長：増原 慶壮（聖マリアンナ医科大学病院薬剤部長）
講師：未定 |
| 14:45～15:45 | ディスカッション みんなで考える，頭痛の実態と対応法 |

パネリスト：

増原 慶壮（聖マリアンナ医科大学病院薬剤部長）

清水 敏彦（東京女子医科大学脳神経センター頭痛外来講師）

未 定（東京都薬剤師会）

15:45～15:55 まとめ

15:55～16:00 閉会挨拶

緒方 宏泰（第14回日本医療薬学会年会長，明治薬科大学薬剤学教授）

公開シンポジウム

「みんなで考えよう くすりのリスクとベネフィット」－患者さんからの医薬品情報－

日 時： 平成16年10月17日（日） 15:10-17:40

会 場： 幕張メッセ 第2会場

主 催： くすりの適正使用協議会，第14回日本医療薬学会年会

参加費： 無料

プログラム

15:10～15:20 主催者挨拶

海老原 格（くすりの適正使用協議会理事長）

乾 賢一（日本医療薬学会会頭，京都大学医学部附属病院薬剤部薬剤部長）

15:20～17:40 パネルディスカッション

座長：緒方 宏泰（第14回日本医療薬学会年会長，明治薬科大学薬剤学教授）

海老原 格（くすりの適正使用協議会理事長）

15:30～15:50 パネリスト1：医療消費者の立場から

水巻 中正（国際医療福祉大学総合教育センター教授）

15:50～16:10 パネリスト2：医師の立場から

松島 雅人（東京慈恵会医科大学臨床研究開発室・附属病院総合診療部）

16:10～16:30 パネリスト3：薬剤師の立場から

高田 充隆（国立循環器病センター薬剤部副薬剤部長）

16:30～17:40 質疑応答および総括

イブニングセミナー，ランチョンセミナー 合計14のセミナーを予定しています。

イブニングセミナー

平成16年10月15日（金）

イブニング1 17:30～18:30 第4会場

共 催：エーザイ(株)

座 長：未定

講演者：加藤 林也（名古屋掖済会病院）

講演タイトル：薬剤師のための循環器講座（不整脈編）

イブニング 2 18:30～19:30 第3会場

共 催：ブリストルマイヤーズ(株)

座 長：井上 忠夫（聖路加国際病院薬剤部）

講演者：未定

講演タイトル：米国における癌専門薬剤師の役割～専門教育・臨床活動の実際～

ランチョンセミナー

平成 16 年 10 月 16 日（土） 11:45～12:45

ランチョン 1 第2会場

共 催：塩野義製薬(株)

座 長：加賀谷 肇（済生会横浜市南部病院）

講演者：鈴木 勉（星薬科大学薬品毒性学教室）

講演タイトル：がん療痛治療におけるオキシコドンの役割 その薬理学的特徴

ランチョン 2 第3会場

共 催：三共(株)

座 長：越川 千秋（獨協医科大学病院薬剤部）

講演者：松岡 博昭（獨協医科大学循環器内科）

講演タイトル：高血圧治療における ARB の位置付け

ランチョン 3 第4会場

共 催：三菱ウェルファーマ(株)

座 長：田中 博（東京医科歯科大学情報医科学センター）

講演者：坂村 健（東京大学、YRP ユビキタス・ネットワーキング研究所）

講演タイトル：（仮題）ユビキタス社会における医薬品情報（電子タグの高度利活用について）

ランチョン 4 第5会場

共 催：ノボ ノルディスク(株)

座 長：河野 博充（帝京大学医学部付属溝ノ口病院薬剤部）

講演者：菊池 方利（朝日生命成人病研究所）

講演タイトル：食後血糖管理の重要性

ランチョン 5 第6会場

共 催：中外製薬(株)

座 長：佐藤 博（新潟大学医歯学総合病院薬剤部）

講演者：菊地 寿幸（防衛医科大学校整形外科）

講演タイトル：未定

ランチョン 6 第7会場

共 催：明治製薬(株)

座 長：谷川原祐介（慶応義塾大学病院薬剤部）

講演者：佐藤 玲子（慶応義塾大学病院薬剤部）

講演タイトル：PK/PD に基づく抗菌薬の用法・用量設定の考え方

平成 16 年 10 月 17 日（日） 11:45～12:45

ランチョン 7 第 2 会場

共 催：バイエル薬品(株)

座 長：大石 了三（九州大学病院薬剤部）

講演者：石蔵 文信（大阪大学大学院医学系研究科保健学科）

講演タイトル：ED 治療薬と循環器疾患

ランチョン 8 第 3 会場

共 催：第一製薬(株)

座 長：奥村 勝彦（神戸大学医学部附属病院薬剤部）

講演者：政田 幹夫（福井大学医学部附属病院薬剤部）

講演タイトル：医薬品情報の臨床でのさらなる応用に向けて～後発医薬品を含めて～

ランチョン 9 第 4 会場

共 催：アベンティス(株)

座 長：増原 慶壮（聖マリアンナ医科大学病院薬剤部）

講演者：尾崎 承一（聖マリアンナ医科大学リウマチ・膠原病アレルギー内科）

講演タイトル：リウマチ膠原病の病態評価と薬物治療

ランチョン 10 第 5 会場

共 催：藤沢製薬(株)

座 長：未定

講演者：内村 直尚（久留米大学医学部精神神経科）

講演タイトル：睡眠障害の診断と治療への睡眠薬の使い方

ランチョン 11 第 6 会場

共 催：大塚製薬(株)

座 長：仲川 義人（山形大学医学部附属病院薬剤部）

講演者：松原 肇（北里大学病院薬剤部）

講演タイトル：注射剤とリスクマネジメント

ランチョン 12 第 7 会場

共 催：ファイザー(株)

座 長：北田 光一（千葉大学医学部附属病院薬剤部）

講演者：平田 清貴（日本医科大学附属病院薬剤部）

講演タイトル：救急・集中治療領域における薬剤師活動と抗真菌薬の適正使用

ワークショップ

主に若手の薬剤師を対象にしたワークショップを開催したいと考えております。薬物治療を行う際の基礎知識として必須である EBM, SOAP およびコミュニケーションの 3 つのテーマを予定しています。

日 時： 平成 16 年 10 月 15 日（金）・18 日（月）＜開催日時が異なります＞

会 場： 幕張メッセ（日本コンベンションセンター）

参加費： 会員 5,000 円，非会員 7,000 円（事前登録のみ，予約制）

ワークショップ 1

平成 16 年 10 月 15 日（金） 13:00-17:00 第 5 会場

テーマ： EBM

タイトル： エビデンスの収集・活用法 —clinical evidence と economic evidence—

オーガナイザー 池田 俊也(慶應義塾大学医学部医療政策・管理学教室)

概要・獲得目標

近年、EBM (Evidence- based Medicine) の重要性が叫ばれており、体系的な文献検索や批判的吟味による臨床的エビデンスの収集方法を習得する必要がある。また、包括支払い方式の導入など医療環境の変化の下で、薬剤師が薬物療法の経済的エビデンスを活用する必要にも迫られている。本ワークショップでは、いくつかの事例を用いて、臨床的・経済的エビデンスの効率的な収集・活用法について学習する。

定員 50 名まで

参加条件 特になし

ワークショップ 2

平成 16 年 10 月 18 日（月） 9:30-16:30 第 6 会場

テーマ： SOAP

タイトル： 薬剤師の視点から薬物治療へ参画するための SOAP 演習：
高血圧を合併した心不全患者を例として

オーガナイザー 高橋 晴美 (明治薬科大学薬物治療学)

概要・獲得目標

1. EBM に基づく薬物治療を患者フォローへ応用できる
2. 薬物治療計画に動態情報を応用できる (薬物の PK 特徴付け+病態の変化に伴う治療計画の変更)
3. 患者情報-問題リスト-SOAP-患者モニターという患者フォローに必要な一連のスキルを症例演習+グループディスカッションにより獲得する。

定員 30-40 名

参加条件 服薬指導歴 2 年以上

ワークショップ 3

平成 16 年 10 月 18 日（月） 9:30-12:30 第 7 会場

テーマ： コミュニケーション

タイトル： 患者から学ぶ医療コミュニケーション
—模擬患者との服薬指導ロールプレー体験—

オーガナイザー 木内 祐二 (昭和大学薬学部病態生理学)

概要・獲得目標

患者の立場から医療人教育に参加されている模擬患者さんとの服薬指導ロールプレーを中心に、望ましい医療コミュニケーションについて討議します。薬局、病棟などのいくつかの場面設定で服薬指導ロールプレーと模擬患者さんからのフィードバックを体験し、より良い医療を求める患者の思いを知るためのコミュニケーション技法を学習する参加型のワークショップです。

定員 50 名まで

参加条件 服薬指導などでの医療面接のスキルアップを望む薬剤師、学生や、その教育にあたられている指導薬剤師、大学教員

FAX:03-5216-5552

第14回日本医療薬学会年会ワークショップ FAX申込フォーム

第14回日本医療薬学会年会ワークショップ事務局 株式会社コングレ宛
お問合せ TEL:03-5216-5551

区分	テーマ*	開催日	開催時間
ワークショップ			

* テーマをEBM、SOAPあるいはコミュニケーションから選択して記入してください。

会場

幕張メッセ【日本コンベンションセンター】

〒261-0023 千葉県千葉市美浜区中瀬2-1 最寄駅:海浜幕張駅(JR京葉線)

◆下記欄に必要事項ご記入の上FAXにてご送信ください◆

お名前

いづれかに✓下さい。

☐ 勤務先

ご住所

☐ 自宅

いづれかに✓下さい。

☐ 勤務先

電話番号

☐ 自宅

いづれかに✓下さい。

☐ 勤務先

FAX番号

☐ 自宅

E-mail

所属

お申し込みが定員を超えた際、1施設複数名でお申込された場合には、1施設1名にさせて頂くこと
ございます。ご了承ください。

＝第 14 回日本医療薬学会年会 宿泊のご案内＝

「第14回日本医療薬学会年会が平成16年10月16日(土)～17日(日)にて、幕張国際会議場開催されるにあたり、日本旅行が、参加の皆様の宿泊をお世話させていただくことになりました。

交通の便の良いホテルを廉価でご用意しております。是非ともご利用いただきますようお願い申し上げます。

1. お申込方法

「ご宿泊申込書」にご記入のうえ、FAXまたは郵送にてお申込みください。宿泊予約の終了後、「ご宿泊予約確認書」並びに「請求書」を郵送いたします。宿泊当日は、「ご宿泊予約確認書」をホテルのフロントに提示してご宿泊ください。(請求書が到着次第、下記口座にお振込みください)

なお、お申込みの皆様には、連絡事務管理費として別途、お一人様500円を申し受けます。

※ ホームページでの受付 アドレス: <http://apollon.nta.co.jp/jsphcs14>

2. お申込締切日

平成16年9月16日(木)

締切後も引き続きお申込みはお受けいたしますが、ホテルを絞らせて頂きますのでご希望に添えない場合もございます。

3. お支払い方法

振込みまたはクレジットカードでのお支払いができます(お申し込みの際に選択となります)。

ご請求書および予約確認書をお受け取りになられたら、指定銀行口座にお振込みください。振込み手数料は各自ご負担ください。クレジットカードの引き落とし手続きは、受付後3週間以内にさせていただきます。

4. 変更・取消について

① 変更・取消はお早めに、FAX等の書面にてご連絡ください。

② 連絡事務管理費 500円は、お取消の場合でも返金いたしかねます。

変更・取消による返金のご精算は、遅くとも学会終了後1ヶ月以内に行います。

お取り消し日	15日前以前	14～8日前	7～2日前	前日	当日・無連絡宿泊
取消手数料	無 料	10%	20%	50%	100%

5. 施設のご案内 宿泊設定期間:平成16年10月15日(金)～10月17日(日)3泊

前後の宿泊ご希望もお受けします。お申込書にその旨ご記入ください。

*1泊朝食付き、サービス料・税金込みの一人様の料金です。

	ホ テ ル 名	申込 略号	部屋 タイプ	宿泊料金	最 寄 り 駅 (会場からのアクセス)
1	幕 張 プ リ ン ス ホ テ ル	A-S	シングル	13,200円	海浜幕張駅南口徒歩5分(会場より徒歩2分)
		A-T	ツイン	13,200円	
2	ホテルニューオータニ幕張	B-S	シングル	17,000円	海浜幕張駅南口徒歩5分(会場より徒歩2分)
		B-T	ツイン	12,000円	
3	ホテル・ザ・マンハッタン	C-S	シングル	17,000円	海浜幕張駅南口徒歩4分(会場より徒歩3分)
		C-T	ツイン	12,000円	
4	ホテルグリーンタワー幕張	D-S	シングル	11,550円	海浜幕張駅南口徒歩2分(会場より徒歩2分)
		D-T	ツイン	10,500円	
5	ホテルスプリングス幕張	E-S	シングル	11,550円	海浜幕張駅北口徒歩3分(会場より徒歩7分)
		E-T	ツイン	10,500円	
6	ホ テ ル フ ラ ン ク ス	F-S	シングル	11,100円	海浜幕張駅徒歩3分(会場より徒歩2分)
		F-T	ツイン	10,000円	
7	メ ー プ ル イ ン 幕 張	G-S	シングル	9,450円	幕張本郷駅徒歩2分(会場まで路線バスで10-15分)
		G-J	ツイン	8,400円	
8	サアラ稲毛海岸ホテル	H-S	シングル	8,400円	稲毛海岸駅徒歩3分(海浜幕張よりJR6分)
9	ファミーINN幕張	J-S	シングル	8,100円	幕張本郷駅徒歩5分(海浜幕張より送迎バス10分)
10	東 横 イ ン 千 葉 幕 張	K-S	シングル	6,000円	稲毛海岸駅車10分(海浜幕張より送迎バス20分)
11	ホテルニューツカモト	L-S	シングル	5,800円	千葉みなと駅徒歩2分(会場よりJRで10分)

■ 航空券・JR券などのご要望の方は、宿泊のお申込みと一緒に申込み下さい。予約・チケットの発送などの対応をさせていただきます。

(株)日本旅行 MCSセンター 医療薬学会デスク

〒105-0004 東京都港区新橋2-16-1 ニュー新橋ビル9階

TEL 03-3581-2751 FAX 03-3581-2875

営業時間 平日 9:30～17:30 (土・日・祝日は休業)

第14回日本医療薬学会年会 宿泊申込書

☆ お申込先 : (株)日本旅行 MCSセンター 医療薬学会デスク

〒105-0004 東京都港区新橋 2-16-1 ニュー新橋ビル9階

TEL 03-3581-2751 e-mail mcs_center@nta.co.jp

FAX 03-3581-2875

申込日 月 日

ふりがな お申込者 (氏 名)				勤 務 先 (所属先)					
書類送付先 (勤務先又は自宅に ○をして下さい)		〒 ー 勤務先 自宅		電 話		()			
				ファックス		()			
	ふ り が な	ホテル名		宿 泊 日				室タイプ	ふ り が な ツインの 同室者名
	氏 名	第一 希望	第二 希望	10/15	10/16	10/17		○で 囲む	
例	にちりょ たろう 日 旅 太 郎	A-S	B-S	○	○			シングル ツイン	
1								シングル ツイン	
2								シングル ツイン	
3								シングル ツイン	
4								シングル ツイン	
交通その他									

☆ お支払方法 ☐ 銀行振込 ☐ クレジットカード カード決済ご希望の方は、下記にご記入ください。

カード会社	<input type="checkbox"/> JCB <input type="checkbox"/> VISA <input type="checkbox"/> DC <input type="checkbox"/> UC <input type="checkbox"/> MC <input type="checkbox"/> Amex <input type="checkbox"/> Diners <input type="checkbox"/> その他 ()	有効期限	年 月
	カード番号	ご署名	

☆ 領収書の送付 ☐ 個人名 ☐ 勤務先名 () ☐ 不要

変更・取消の時は、FAXでご連絡ください。

ご返金がある場合は、返金先口座の銀行名・支店名・口座番号・名義人も併せてご連絡ください。

返金先口座	銀 行 名	支 店 名	口 座 番 号	口 座 名 義